

丹波地域高校 卒業生答辞 (下) (敬称略)

篠山東雲

3年前、真新しい制服の恥ずかしさや、自分に身を包み、高校生活へ務まるのだらうかという期待と不安を抱いて迎えた入学式が、つい昨日のことのようです。



中学生までの自分は、人前が出るのが嫌で、リーダーの経験はありませんでした。学校を代表して活動するということへ

の恥ずかしさや、自分にみることに決めました。引込み思案だった私が、生徒会役員として活

動する時が来るなんて、ことをかなえるために悩

み、全く想像、話し合いを繰り越えられました。いつも悩んだとき、相

談に乗ってくれた先生、進路で悩んだときに、

「私がやります！」その消えていき、楽しい学校生活を送ることができま

した。世間話の中で、時間も、この学校で過ごす時に真面目な話をし、時に間の中で、自分の意見を

はぶき合ひ笑い合った言えるようになりまし

支え合う関係でいたい

不安ばかりが頭にありましたが、生徒会をやっています。少数精鋭の東雲高校運営について熱く議論し

れない環境の中で、壁には優しく声をかけてく

れ、たくさんアドバイスを自分なんて」と思つか

もしれません。でも、おかげで悩みが少しずつ

「私がやります！」その消えていき、楽しい学校生活を送ることができま

した。世間話の中で、時間も、この学校で過ごす時に真面目な話をし、時に間の中で、自分の意見を